【技術分野】　　つくばみらい市技術・家庭科研究部

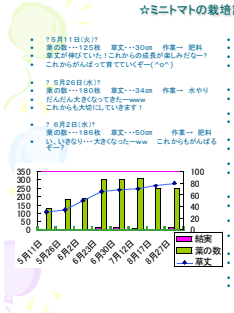
題　材　名	生物育成に関する技術　　野菜の栽培
内容・項目	Ｃ－（１）（２）
指導時間	１８時間
題材のねらい （題材の特徴）	・野菜の育成に適する条件と野菜の育成環境を管理する方法を知ることができる。 ・野菜育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 ・目的とする野菜の育成計画を立て，野菜の栽培ができる。 ・地域農家の方に助言をもらい，より効果的な野菜の栽培ができる。（地域との交流） ・栽培記録をコンピュータのソフト等を使ってまとめる作業を通して，より効果的な栽培方法を考えたり，工夫したりすることができる。

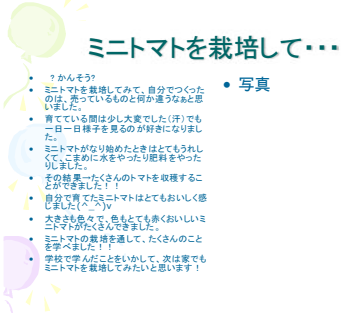
学習の流れ（展開の工夫）

時　間	指導項目	主な指導内容
４時間	・栽培したい作物を決め，班を結成する。	・作物の育成に適する条件や育成環境を管理する方法を知り，自分の栽培したい作物を決定させる。同じ野菜の栽培に取り組む者同士で班を結成させる。【学ぶエネルギー】【意思決定能力】
３時間	・畑の割り振りと畑作りをする。	**・畑の割り振り及び畑作りの計画を班で協力して立てさせる。【かかわり】**
２時間	・栽培計画を立てる。	・栽培計画書をデータで準備し，作成例を示す。【学ぶエネルギー】
１時間 １時間	・苗の植え付けをする。 ・支柱立てをする	・１つ１つの作業や観察等の栽培記録をコンピュータのソフトを使って，まとめさせる。授業の中で，野帳にしっかり記録させた栽培記録を電子データに整理させる。【学ぶエネルギー】
１時間 １時間	・手入れをする。 ・収穫をする。	・デジカメでの写真記録を必要に応じていつでも可能にしておく。 ・作物によって行う手入れ等を調べたり，農家の方に聞いたりして，より良く成長させるように，班で協力して進めさせる。【学ぶエネルギー】【かかわり】
４時間	・レポートにまとめる。	・栽培記録をもとに，作業や観察結果を時間の経過とともに総合的にまとめさせる。【学ぶエネルギー】
１時間	・後始末をする。	・枯れた苗の始末と支柱等の片付けをさせる。【かかわり】

題材の紹介と作品例

＜レポート＞





準備・材料等	露地栽培　耕耘機　シート　肥料　ジョーロ　支柱　くわ　スコップ等 鉢栽培　用土　肥料　鉢　ジョーロ　支柱　等

〔本題材を考案するに当たって参考にしたもの〕
・ＪＡ，園芸店，農家の方の助言